

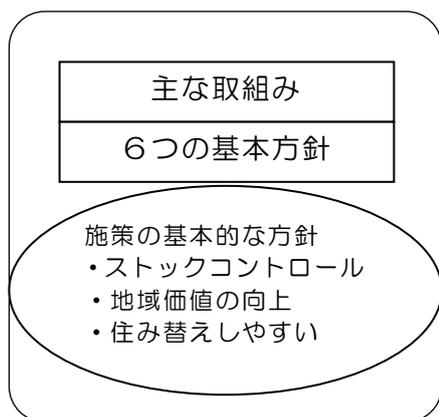
第2回改訂検討委員会からの主な変更について

1. 住宅マスタープランの骨子の構成

◆第2回の庁内検討会議、改訂検討委員会での指摘を踏まえ、構成を整理・修正

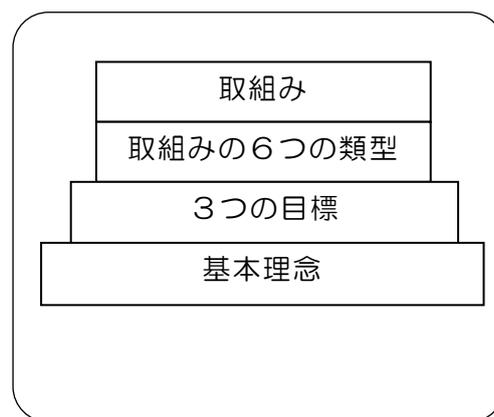
◆構成の主な整理・修正事項（以下イメージ図）

第2回提示内容

会議、委員会での
指摘事項

- ・施策間での矛盾がある優先順位の整理が必要
- ・市外から呼込む視点が見えない 等

今回提示内容

2. 取組みの類型、取組み内容の整理

◆取組みの6つのジャンル（類型）は**変更なし**

◆取組み内容の精査による**削除**

- 記載事項が取組みレベルではなく、目標レベルの内容（住宅ストックコントロールの推進）
- 他の類型に属する内容（同居近居の誘導、歩いて暮らせる住まい）
- 取組み間での重複する内容（緑環境をいかした住環境、自治会活動等の地域交流の支援）

◆取組み内容の精査による**追加**

- 住宅市街地の維持誘導形成に向けた体制の考え方
- 高齢者の住宅政策に関する優先順位の考え方
- 外国人居住や障害者の地域移行の視点から地域のミクストコミュニティの推進の考え方

◆取組み内容の精査による**更新**

- 先進事例を参考にした内容（世田谷区の空き家活用、居住支援に関わる地域善隣事業等）